

Fresh Concert ～CMDJ 2017～

～より豊かな音楽の未来をめざして～



すみだトリフォニーホール 小ホール

2017年4月11日（火）

主催：日本音楽舞踊会議／後援：季刊『音楽の世界』

《 プ ロ グ ラ ム 》

守山 友季恵 (ソプラノ)

マスカーニ

ドニゼッティ

G. Donizetti

ピアノ：有岡 奈保

歌曲 “聴きましょう” / P.Mascagni “Ascoltiamo!”

歌劇『アンナ・ボレーナ』より “わたしの生まれたあのお城”

Opera [Anna Bolena] ~ “Al dolce guidami castel natio”

菊池 柁慶 (ヴァイオリン)

ミルスタイン

N.Milstein

「パガニーニアーナ」

“Paganiniana”

遠藤 寛子 (ソプラノ)

ドビュッシー

C. Debussy

ドビュッシー

C. Debussy

ピアノ：森田 真帆

「2つのロマンス」 1.ロマンス 2. 鐘

[2 Romances] ~ 1.Romance 2.Les cloches

“家のない子のクリスマス”

“Noël des enfants qui n'ont plus de maison”

有岡 奈保 / 宮尾 夕華 (ピアノ連弾)

ラヴェル

M.Ravel

ラヴェル

M.Ravel

『マ・メール・ロワ』より 第4曲 「美女と野獣の対話」

[Ma mère l'oye] ~ 4. “Les entretiens de la belle et la bete”

歌劇『子供と魔法』より 「ワルツ」 「5時」

Opéra [L'enfant et les sortilèges] ~

“Valse - Danse des Rainettes et Danse des Libellules et des Sphinx” , “Five o'clock, Fox-Trot”

岡本 恵 (ソプラノ)

中田喜直

ドニゼッティ

G.Donizetti

ピアノ：寺本佐和子

歌曲 “さくら横ちょう”

歌劇『ドン・パスクァーレ』より “あの目に騎士は”

Opera 「Don pasquale」 ~ “Quel guardo il cavaliere”

----- 休憩 -----

山本 真望子 (Sop. Sax.) / 山田 彩華 (Alt. Sax.) / 中島 由加里 (Ten. Sax.) / 吉田 祐介 (Bar. Sax.)

マスランカ

D. Maslanka

「ソングス・フォー・ザ・カミング・デイ」より 8. 魂はここに、自らの喜びのために

[Songs for the Coming Day] ~ VIII: The soul is here for its own joy

山上 由布子 (ピアノ)

ハイドン

J.Haydn

ソナタ 第47番 Hob. XVI/32 ロ短調

Sonate Nr.47 Hob.XVI/32 h-moll

梅谷 真理子 (ソプラノ)

ヴォルフ

H.Wolf

ピアノ：村上 藍

『メーリケの詩による歌曲集』より

“旅路にて”、“水の精ビンゼフース”、“春が来た”

[Gedichte von Eduard Mörike] ~

“Auf einer Wanderung”, “Nixe Binsefuß”, “Er ist's”

落合 真悟 (チェロ)

サン=サーンス

C.Saint-Saëns

ピアノ：井出 久美子

チェロ協奏曲 第1番 作品33 第2、3楽章

Cello Concerto No.1 in a minor op.33 ~ II & III mov.

戸森 冴耶 (ソプラノ)

リスト

F.Liszt

ピアノ：齋藤 亜都沙

『ペトラルカのソネット』より “平和が見つからず”

「Tre sonetti di Petrarca」 ~ “Pace non trovo”

司会：西山 淑子

《ごあいさつ》

Fresh Concert は 2003 年に第 1 回を開催し、本年度で第 15 回目を迎えます。過去 14 年間には、2011 年の東日本大震災、福島原発事故という未曾有の大災害、大事故に見舞われ、コンサート開催が危ぶまれたこともありましたが、そういう難局を関係者の熱意と努力で乗り越え、とうとう 15 回積み重ねることが出来ました。近年は、我が国の経済もいくらか上向いてきているように見えますが、音楽芸術の分野においては残念ながら活動環境が整っているとは申せません。特に若い音楽家たちにとって、生活と芸術活動を両立させることは、とても困難なことであります。

そのような社会、文化状況にある今の時代において、若い才能の発掘、育成に努めることも、創立以来 50 年を越える歴史を重ねて来た当音楽文化団体として果たすべき社会的、文化的使命の一つと考え、2003 年以来、毎年 3 月下旬～4 月上旬に『Fresh concert』を企画し、開催してまいりました。

15 回目を迎える今回も、10 組、14 人に及ぶ優秀な若い音楽家たちがステージに立ちます。今年は、声楽、ピアノ、弦楽器、管楽器と各部門のバランスも良く、多彩なプログラムを提供することが出来ます。

どうか、若い音楽家たちが、若々しい情熱を注ぐ演奏に耳を傾け、暖かく励ましてあげてください。聴衆の皆様と共に音楽の喜びを分かち合うことができれば、出演者およびスタッフ一同にとって、この上ない大きな幸せであります。

日本音楽舞踊会議

代表理事

深沢亮子

理事長

北川暁子

公演局長

北條直彦

コンサート実行委員長 中島洋一



《演奏者プロフィール》



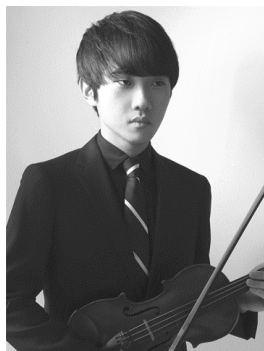
守山 友季恵（もりやま・ゆきえ：ソプラノ）

東京都出身。6 歳からピアノ、17 歳から声楽を始める。国立音楽大学演奏学科声楽専修卒業。同時にオペラ・ソリスト・コース修了。これまでに声楽を小川哲生、片岡敬、小林菜美の各氏に師事。

オーディションを経て国立音楽大学主催第 97 回ソロ・室内楽定期演奏会にソロ部門で出演。昨年 8 月に国立音楽大学国内外研修生としてサレルノ夏期国際音楽講習会に参加。昨年 9 月にウィリアム・マッテウツィ氏のマスタークラスを受講。第 15 回国立音楽大学声楽専修合唱定期演奏会にてメンデルスゾーン「モテット作品 39」ソプラノ・ソリストを務める。オペラや宗教曲、学外での慰問演奏など幅広く活動している。

有岡 奈保（ありおか・なお：伴奏ピアノ）

福岡県出身。幼少よりヤマハ音楽教室で学ぶ。福岡県立筑紫丘高等学校、国立音楽大学演奏学科鍵盤楽器専修卒業、アンサンブル・ピアノコース修了。現在、同大学院器楽科伴奏コース1年に在籍。これまでにピアノを橋本久仁子、手塚真人、山田剛史、花岡千春、アンサンブルを梅本実の各氏に師事。オーディションを経て国立音楽大学主催第97回ソロ・室内楽定期演奏会に宮尾夕華とのピアノ連弾で出演。昨年9月にはDuo Couleur(デュオ・クルール)として、橋本久仁子氏とピアノ連弾、管楽器とのアンサンブルのコンサートを行うなど、学外での演奏活動にも積極的に取り組んでいる。



菊池 柊慶(きくち・まさのり：ヴァイオリン)

1997年札幌生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。第26回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール東京本選弦楽器部門高校生の部金賞、同全国大会弦楽器部門高校生の部第4位(最高位)受賞、日本クラシック音楽コンクール全国大会3年連続出場、うち2度入賞。2013年にヨーロッパ国際マスタークラス(ドイツ)、2015年には、湖水地方夏季音楽祭(イギリス)に参加し、それぞれトマシユ・トマシェフスキー、レヴォン・チリングリアン各氏に師事。湖水地方夏季音楽祭では、ソリストに選ばれ、教会でバッハの無伴奏ソナタを演奏した。2016年に、米国大使館公使によって米国大使館公使公邸に招かれて演奏し、2017年3月にはソロリサイタルを開催した。現在、沼田園子、澤亜樹各氏に師事。

早稲田大学高等学院在籍時、学芸賞、論文・作品優秀賞芸術部門金賞を受賞し、東京都高等学校文化連盟からも表彰を受ける。現在、早稲田大学政治経済学部政治学科3年在学中。



遠藤 寛子（えんどう・ひろこ：ソプラノ）

福島県出身。福島県会津学鳳高等学校卒業。国立音楽大学音楽学部演奏学科声乐専修声乐コース修了。国立音楽大学卒業生第40回福島県出身者による新人演奏会に出演。洗足学園音楽大学大学院音楽研究科声乐専攻修了。フランス歌曲、日本歌曲を中心に学ぶ。声乐を秋山理恵氏に師事。

森田 真帆（もりた・まほ：伴奏ピアノ）

桐朋学園大学演奏学科ピアノ専攻卒業。卒業演奏会に出演。国立音楽大学大学院修士課程鍵盤楽器専攻伴奏コース修了。第2回ディヒラーサトウコンクール第2位、第14回アジアクラシックコンクール優秀賞、第24回飯塚新人音楽コンクール第3位入賞。これまでに玉置善己、近藤伸子、井上二葉の各氏に師事。現在、国立音楽大学大学院リート科伴奏助手。日本フォーレ協会会員。



有岡 奈保（ありおか・なお：Prima.）／
宮尾 夕華(みやお・ゆうか：Seconda) 《ピアノ連弾》
(写真左：宮尾夕華／右：有岡奈保)

〈有岡奈保の略歴はこのページの冒頭参照〉

宮尾 夕華(みやお・ゆうか：Seconda)

埼玉県出身。埼玉県立伊奈学園総合高等学校芸術科（音楽）、国立音楽大学演奏学科鍵盤楽器専修を卒業、アンサンブル・ピアノコース修了。現在同大学院器楽科伴奏コース1年に在籍。これまでにピアノを古泉元子、佐藤 俊、堀田万友美、花岡千春の各氏に師事。

国立音楽大学主催のソロ・室内楽定期演奏会に第97回では有岡奈保と連弾で、第98回では歌曲伴奏で出演。また、国立音楽大学招聘教授による特別レッスン受講や4年ピアノ科演奏会等にも出演するなど、ソロやアンサンブルに積極的に取り組んでいる。



岡本 恵(おかもと・めぐみ：ソプラノ)

横浜市出身。4歳からピアノを始める。北鎌倉女子学園中・高等学校 音楽科卒業。中学はピアノを専攻、高校より本格的に声楽を始める。北鎌倉女子学園定期演奏会出演。第4回 東京国際声楽コンクール 高校生の部 本選入選。平成29年国立音楽大学 演奏学科声楽専修 卒業。並びにオペラ・ソリストコース修了。在学中、学部3年次、嶺貞子先生による、イタリア近代歌曲の公開レッスンを受講。4年次、選抜による、第119回 Vocal Concert に出演。また、オーディション合格者による、第97回 ソロ・室内楽定期演奏会出演。平成29年4月より、上級アドヴァンストコース・歌曲ソリストコースに在籍。日本歌曲を中心に研鑽を積んでいる。これまでに声楽を小泉恵子、保永秀樹、平松英子の各氏に師事。

寺本 佐和子(てらもと・さわこ：伴奏ピアノ)

東京都出身。国立音楽大学附属中学、高等学校を経て国立音楽大学音楽学部演奏学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業。在学時、くにたち音楽会、新入生歓迎演奏会、ソロ・室内楽定期演奏会、卒業演奏会等にソロ、伴奏で出演。これまでにピアノを佐崎朋子、志茂貴子、日下知奈、奥村友美の各氏に師事。又コレパティートルコースにおいて河原忠之氏のもと学ぶ。現在、声楽伴奏を中心に研鑽を積んでいる。国立音楽大学伴奏助手。



左か吉田祐介、中島由加里、山本真望子、山田彩華

〈サクソフォーン 四重奏〉

山本 真望子(やまもと・まみこ：Sop. Sax.)

愛媛県出身。愛媛県立伊予高等学校卒業。国立音楽大学演奏学科弦管打楽器専修卒業、ソリストコース修了。Vincent.Dabid氏のマスタークラスを受講。第30回全日本ジュニアクラシックコンクール全国大会審査員賞。サクソフォーンを永岡嘉夫氏、雲井雅人氏に師事。室内楽を下地啓二氏、滝上典彦氏に師事。

山田 彩華(やまだ・さやか：Alt.Sax.)

岩手県出身。岩手県立久慈高校を卒業。現在、国立音楽大学サクソフォーン専攻3年、ソリストコースに在籍。サクソフォーンを雲井雅人氏、下地啓二氏、渡辺邦夫氏に師事。室内楽を下地啓二氏、滝上典彦氏に師事。

中島 由加里(なかしま・ゆかり：Ten.Sax.)

鳥取県出身。中学でサックスを始める。国立音楽大学演奏学科弦管打楽器専修卒業。室内楽コース終了。

クラシックサクソフーンを坂東邦宣氏、雲井雅人氏に、室内楽を下地啓二氏、滝上典彦氏に師事。学生時代NewtideJazzOrchestra に所属しており各地の JazzFestival に数多く出演した。これまで神保彰氏、故・宮本 大路氏、吉田次郎氏、村上ポンタ秀一氏など日本のトップジャズプレイヤーと共演した。

吉田 祐介(よしだ・ゆうすけ : Bar.Sax.)

富山県立呉羽高校音楽コース卒業。第98回国立音楽大学ソロ・室内定期演奏会にてソリストとして出演。サクソフォーンを雲井雅人、宗貞啓二、坂東邦宣の各氏に、室内楽を下地啓二、滝上典彦の各氏に師事。現在、国立音楽大学サクソフォーン専攻4年、ソリストコースに在籍。



山上 由布子 (やまかみ・ゆうこ : ピアノ)

中学からピアノを始める。2011 年フェリス女学院大学音楽学部演奏学科卒業。2012 年日本音楽舞踊会議第 10 回フレッシュコンサート出演。同協会主催のコンサートに多数出演。これまでピアノを小川尚子、野田清隆、橘高昌男、北川暁子の各氏に師事。現在、リラの会会員。日本音楽舞踊会議青年会員。



梅谷 真理子 (うめたに・まりこ : ソプラノ)

平成 26 年国立音楽大学卒業。平成 27 年 9 月より約 1 年間同大学院の交換留学制度により、ドイツのカールスルーエ音楽大学リート科に留学。平成 29 年国立音楽大学大学院声楽科ドイツ歌曲専攻修了。白井光子、長島剛子の各氏に師事。



村上 藍 (むらかみ・あい : 伴奏ピアノ)

国立音楽大学演奏学科鍵盤楽器専修(ピアノ)卒業。アンサンブル・ピアノコース修了。同大学院修士課程器楽専攻(伴奏)修了。若い人のための「サイトウ・キネン室内楽勉強会」、Hakuju Hall 主催「白井光子&ハルトムート・ヘル マスタークラス」を受講。第 12 回日本アンサンブルコンクール「リート・デュオ部門」優秀演奏者賞及び全音楽譜出版社賞受賞。これまでに岡部由美子、原まりこ、梅本実、安井耕一の各氏に師事。



落合 真悟 (おちあい・しんご : チェロ) 1

チェロを植草ひろみ、安田謙一郎各氏に師事。Fresh Concert CMDJ 2014~2016、「堀米ゆず子 モーツァルトヴァイオリン協奏曲全 5 曲演奏会」等に出演。現在早稲田大学文学部 2 年在学。

井出 久美子 (いで・くみこ : 伴奏ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業後、日本 - ハンガリー友好協会の奨学生としてブダペストのリスト音楽院に留学。ピアノを田中希代子、コルネール・ゼンプレーニ、ジョルジュ・シェボック、室内楽を三善晃の各氏に師事。NHK「FMリサイタル」などの放送に出演。聖徳大学音楽学部講師。





戸森 冴耶（ともし・さや：ソプラノ）

東京都出身。国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修卒業。歌曲ソリストコース修了。同大学院音楽研究科修士課程声楽専攻オペラコース修了。国立音楽大学声楽科目会主催第113回 Vocal Concert、平成25年度国立音楽大学卒業演奏会、第39回国立音楽大学東京同調会新人演奏会出演。在学中、嶺貞子、M. ペイローネ、W. マッテウツィ、M. レアーレ各氏による公開レッスン受講。同大学院オペラ公演『Don Giovanni』ドンナ・エルヴィーラ役で出演。秋葉京子、下原千恵子、黒田博の各氏に師事

齋藤 亜都沙（さいとう・あずさ：伴奏ピアノ）

国立音大ピアノ専攻首席卒業。鍵盤楽器ソリストコース修了。平成29年国立音楽大学大学院声楽科ドイツ歌曲専攻修了。武岡賞、岡田九朗記念賞受賞。大学院奨学生に選出。国外研修奨学生としてザルツブルク国際音楽アカデミーにてJ. Marglis氏に師事。SKFM「若い人の為の室内楽勉強会」を受講し小澤征爾氏による主催演奏会に出演。読売新人演奏会、皇居桃華楽堂御前演奏会、大学院新人演奏会ほか多数出演。ダン・タイ・ソン、M. ベロフ、M. ダルベルト、E. ポヴウォック各氏による公開レッスン受講。現在ピアノを安井耕一氏に師事。室内楽ではフルート奏者H. Svitzer氏、G. Petrucci氏をはじめ著名な音楽家との共演を重ね活動の幅を広げている。



《曲目解説 中島 洋一》

① 1. マスカーニ 歌曲 “聴きましょう”

ピエトロ・マスカーニ(1863-1945)は、1890年のコンクール応募作品『歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』によって、大成功を収めたが、指揮者としても成功し、創作面においてはオペラ作品の他。管弦楽曲、声楽曲、ピアノ曲などを残している。

“聴きましょう それは夢が現実になったような甘いメロディー”と歌い始める、ゲイド・イナシの詩にとる短い愛の歌曲は、1904~05年に作曲されており、テノール歌手によって歌われる機会も多い。イタリオオペラの作曲家らしく、声の表現力を生かした甘美な歌曲となっており、クライマックスでは遠い調に転調し、盛り上げて曲を閉じる。

①-2. ドニゼッティ 歌劇『アンナ・ボレーナ』より “わたしの生まれたあのお城”

ガエターノ・ドニゼッティ(1791-1848)は、ロッシーニ、ベッリーニと並ぶ19世紀のイタリアオペラを代表する作曲家であり、数多くのオペラ作品を手がけている。

1830年に作曲された『アンナ・ボレーナ』は、ドニゼッティのオペラの中でも特に芸術性の高い作品である。題材となった人物はエリザベス一世を生んだ英国の王妃アン・ブーリンである。彼女は姦通罪で、ロンドン塔にて斬首の刑を受けている。その歴史的事件にもとづき、王、王妃とそれを取り巻く男女の愛と権力の確執がもたらす悲劇として仕上げたのがこの作品である。

“私の生まれたあのお城”は、このオペラの終盤、アンナがロンドン塔の牢獄で歌うアリアで、“泣いているの？”に続けて、へ長調に2/4拍子で歌われる。アンナは「私を故郷のお城に導いて！若い日の愛を返して！」と幸せだった若き日を懐かしみ、錯乱状態で歌う。やがてアンナは小太鼓の音で正気に戻り、兄や自分に想いを寄せた男に詫び、新王妃誕生の祝砲が鳴り響く中、息を引き取る。

② ミルスタイン 「パガニーニアーナ」

ナタン・ミロノヴィチ・ミルシテイン（1903-1992）は、ウクライナ出身のユダヤ系のヴァイオリニストである。ペテルブルグ音楽院で学び、ロシア革命後は、キエフに戻り、ピアニストのホロビッツとも親しく交わり競演している。その後、アメリカやヨーロッパで幅広く活動している。優れたヴァイオリニストであり、ヴァイオリンのために多くの名曲の編曲を手がけているが、オリジナル作品としては、今回演奏する「パガニーニアーナ」がよく知られている。

この作品はブラームスなど数多くの作曲家が変奏曲を書いたパガニーニの無伴奏ヴァイオリンのための綺想曲 24 番の 16 小節の主題による変奏曲である。急速な音型によるレガート奏法、重音、トレモロなど、様々に高度な技法を散りばめた難曲であるが、技巧に溺れることはなく、表情豊かに仕上げられている。第 7 変奏のあと、ゆっくりとしたテンポでもの悲しく歌い。最後は急速なテンポで主題を歌い上げ曲を閉じる。

③-1 ドビュッシー 「2つのロマンス」 1. ロマンス 2. 鐘

クロード・ドビュッシー（1862-1918）は、管弦楽曲や、ピアノ曲だけでなく、多くの声楽作品を残しているが、この作品が書かれた 1991 年は特に多くの歌曲が書かれている。翌年に管弦楽曲『牧神の午後への前奏曲』が発表されており、この頃はドビュッシーの音楽的個性が確立して行く過程にある時期と捉えられよう。ポール・ブルジェの詩に書かれた「2つのロマンス」は、ドビュッシーの歌曲の中でも平明で判りやすく、高校の音楽教科書の教材使われたりしている。

1. **ロマンス**は、まず、ピアノによる指導動機風の旋律形ではじまり、それに導かれ、愛に満たされた日々の思い出しながら、呟くように歌いはじめる。歌の合間にピアノで何度も冒頭の動機が奏でられる。

2. **鐘** においては、C#→D#→E と続く鐘を思わす音型がオスティナートのように、そしてある時は拡大したりしながら繰り返され、歌い手はその音色を背景に、失った昔の愛に想いはせて歌う。

2 曲とも、ピアノ伴奏部が、非常に重要な役割を担っている。

③-2 ドビュッシー “家のない子のクリスマス”

この歌曲は第一次大戦開戦翌年の 1915 年に作曲家自身の詩をもとに作曲されている。

“もう家もない、敵がみんな取っていった”という歌い出しで始まるこの曲は、家や、寝床を失ったいたいけな子供たちの悲しみが、聴く人の心に響いて来る佳作であり、作曲者の想いが詰まった反戦歌である。しかし、その頃すでにドビュッシーは大腸癌に侵されており、3 年後の 1918 年には帰らぬ人となった。歌謡部は 4/4 拍子なのに対し伴奏部は 8/12 拍子で書かれ、逃げ惑わざるをえない子供達のやるせなさを感じさせる音楽となっている。

④-1 ラヴェル：『マ・メール・ロワ』より 第 4 曲 「美女と野獣の対話」

モーリス・ラヴェル（1875-1935）は、13 歳先輩のドビュッシーとともに、近代フランスを代表する作曲家であることはいままでもないが、ストラヴィンスキーが「スイスの時計職人」と称したように、その作品は精緻に仕上げられ、完成度が高い。また、管弦楽法の名人としても評価が高く、他の作曲家や自作の器楽曲をしばしば管弦楽化している。

1908～10 年に作曲された組曲『マ・メール・ロワ』は、本日演奏される四手連弾版が原曲だが、作曲者自身が編曲した管弦楽版もよく演奏される、

組曲の第 4 曲に当たる「美女と野獣の対話」へ長調 3/4 は、プリマにより美女を表す典雅な旋律が奏でられる。続いてセコンダが低い音で野獣のテーマを弾く。二人は対話をしながら次第に昂まり、クライマックスに達するとグリッサンドが奏され、野獣が美しい王子様に変身し、二人の愛が成就する。

④-2 ラヴェル : 歌劇『子供と魔法』より 「ワルツ」、「5 時」

歌劇『子供と魔法』は、二作しかないラヴェルのオペラ作品の一つで、短い一幕物だが、随分と時間をかけ作曲され 1924 年によく完成する。メルヘンの世界を描いたこの作品は、美しい管弦楽法に彩られた幻想的な世界を創出しており、メルヘンオペラの傑作として今日でもしばしば演奏される。今回は『マ・メール・ロワ』とは逆に、オペラのカラフルな管弦楽の響きを、ピアノでどのように再現するかが聴きどころである。

「ワルツ」は第二場の雨蛙の踊りで、編曲は原曲より長くなっているが、原曲の雰囲気は醸し出されている。「5 時」は第一場で、大時計や、家具、ティーポットなどが。子供のいたずらに踊りながら抗議する場面だが、オペラでは部分的に英語で歌われる箇所もあり、ラヴェルが好んだジャズ音楽からの影響が顕著である。

⑤-1 中田喜直 歌曲 “さくら横ちょう”

加藤周一の詩“さくら横ちょう”には、別宮貞雄も作曲しており、中田作品とともに演奏される機会が多いが、別宮作品が言葉をメリスマ風に処理し、拍子感を感じさせない書き方をしているのに対し、中田作品は伴奏音型もフランスのロマン派を想起させるような分散和音をともなう 3/4 拍子で書かれており、明確な拍子感をもつ。しかし、美しい旋律は日本的な抒情性で満たされており、いまでも、歌い手が好んでレパートリーとして採り上げる作品となっている。

⑤-2 ドニゼッティ 歌劇『ドン・パスクァーレ』より “あの目に騎士は”

ドニゼッティとしては晩年にあたる 1842 年に書かれた『ドン・パスクァーレ』は作者の「オペラ・ブッフア（喜劇的オペラ）ジャンル」の代表作といえる。

“あの目の騎士は”は、第 1 幕第 2 場のはじめに、このオペラのヒロインで美しい未亡人のノリーナが歌うカバティーナ（アリアの一種）である。アンダンテ、ト長調 3/4 で流暢に歌われるが、やがてアレグロ 変ロ長調 4/4 に変わると、恋人のエルネストを想いながら、序曲に現れた非常に有名な旋律を浮き浮きとした調子で歌う。歌は高度な声楽的技巧を混じえながら次第に盛り上がり、幸福感に満ちた気分で閉じられる。

⑥ マスランカ 「ソングス・フォー・ザ・カミング・デイ」より 第 8 章 “魂はここに、自らの喜びのために”

デイヴィッド・マスランカ（1943～）は現在アメリカで人気のある作曲家の一人である。吹奏楽や、サクソフォーンのためにも多くの作品を書いており、どの作品においてもコラールに基づいた、ある意味ではサクソフォーンらしからぬと言えるほどのシンプルな旋律と、それとは真逆の、魂の叫びにも似た、荒々しく、より人間の感情に近い喜びを感じることの出来る旋律、この 2 つが同時に織り込まれた魅力ある楽曲ばかりである。

今回演奏する“魂はここに、自らの喜びのために”は、9 章から成る「ソングス・フォー・ザ・カミング・デイ」の第 8 章にあたる曲で、作曲者はこの楽章について「9 つの楽章のうち、この楽章だけが、快速かつエネルギッシュである。楽章全体がシンプルに「魂の喜び」のための表現に満ちている」と語っている。

曲は、イ短調の急速な上行音階を下行音型が力強く受けとめ始まる。急速な音階や分散和音、そしてリズム節奏の合間に、時折美しいコラール風の旋律が顔を覗かせる。音楽はますます激しく活発になるが、曲の終わりでは、ロ長調に落ち着き、コラール風の旋律を奏でながら、静かに終わる。

なお、筆者のもとには楽譜がなかったので、この解説は耳の記憶を頼りに書いたものである。

⑦ ハイドン：ソナタ 第 47 番 Hob. XVI/32 ロ短調

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン（1732-1809）は、当時としては長寿で活動期間も長く、100 曲を超える交響曲、80 を超える弦楽四重奏曲を残しているが、ピアノ・ソナタ作品も多い。また初期の作品に比べて、壮年期、熟年期の作品は円熟度で格段に優っている。この作品は壮年期の 1776 年頃の作と思われる。

第 1 楽章 アレグロ モデラート ロ短調 4/4

右手の装飾音を伴った音型と、左手のスタッカートで奏される力強い第一主題、半音階的下降音型で奏される第 2 主題、主題の対比も明確で、力感のある壮麗なソナタ楽章として仕上げられている。

第 2 楽章 ロ長調 3/4 メヌエット

明るく煌びやかな前半に対して、同主短調で奏でるトリオは、悲しみの情を含み、エネルギー感に満ちている。この楽想のコントラストが、音楽的に引き締まった表現をもたらしており、聴き手を飽きさせることがない魅力を生み出している。

第 3 楽章 プレストロ短調 2/4

5 つの 8 分音符の同音打鍵で始まるこのフィナーレは、楽章を通して澁刺としたリズムをもち、作曲者の磨かれた才能が発揮された生命感溢れる楽章となっている。第 2 主題も第 1 主題と同じく 5 つの 8 分音符の同音打鍵で始まるが 16 分音符の素早い音型が続くことで、見事なりズムの変化を演出している。がっちりしたソナタ形式で仕上げられているが、最後に主題の音型が表れ歯切れ良く鮮やかに曲を閉じる。

⑧ ヴォルフ

『メーリケの詩による歌曲集』より

“旅路にて”、“水の精ビンゼフース”、“春が来た”

フーゴ・ヴォルフ（1860-1903）は当時のオーストラリア領で、現在のスロベニアのスロヴェニ・グラデツで生まれた。父親は熱心な音楽愛好家だったが、彼も少年時代から音楽に熱中していたようだ。1875 年にウィーンに出てウィーン音楽院で学ぶが、二年で中退している。ウィーンに出て間もなくワーグナーと会い、彼の芸術に触れ、熱烈なワグネリアンとなる。ヴォルフは多くの作品を残しているが、その殆どが歌曲作品である。彼の作品において伴奏部が果たす役割は、ワーグナーの作品における管弦楽のように重要であり、ワーグナーのライトモチーフに類似した手法も見られる。ヴォルフは晩年の数年は精神を患い、43 歳で他界している。

メーリケの詩による歌曲集は彼の代表作で 53 曲が収められており、本日はそのうちの三曲を演奏する。

“旅路にて” は 6/8 でピアノの浮き浮きするような軽快な動機ではじまるが、この動機は曲を通して使われる。歌のパートもその気分を引き継ぎ遠隔調に転調したりするが、“あやしみて、たたずみ”と歌うところで、声を潜めテンポを落とす。しかし、最後は再び最初の動機に戻り、幸せな気分のもと、静かに曲を閉じる。

“水の精ビンゼフース”は、3/8 拍子でピアノの急速な半音階で始まる。「私は生娘のビンゼフースよ」と水の精が語り始めると 2/4 拍子に変わり、水の精は魚たちの断食の話をしたりして漁師たちをからかうが、この部分は詩に添いながら音楽は軽やかに変化して行く。再び 3/8 拍子に戻り、水の精は「じゃあ可愛いみなさん、今日はさよならね!」と言い、残されたピアノは、上行する半音階を奏して、PPPP で曲を閉じる。

“春が来た” 4/8 拍子：心のときめきを表すような軽快な伴奏音型に支えられながら、歌い手は春の喜びを歌う。最後の節「私の友 お前 春よ」で、歌のパートが最高音の長音で終わると、ピアノが IV の和音で引き継ぎ、明るく後奏を奏して曲を閉じる。

⑨ サン＝サーンス チェロ協奏曲 第1番 作品33 第2、3楽章

カミーユ・サン＝サーンス(1835-1921)はフランス近代の作曲家の中では最も長寿であり、また非常に博識多才な人物だったことで知られている、活動期間が長かったこともあり、歌劇や管弦楽作品、室内楽作品など多くの作品を手がけているが、協奏曲も10作品残している。

そして、そのうちの2作がチェロ協奏曲であり、本日より上げる第1番が今でも演奏される機会が多いのに対し、晩年に作曲された第2番は演奏される機会が少ない。

1872年に書き上げられた第1番イ短調は、全3楽章を切れ目なく演奏するように書かれているが、それは、3つの楽章が構造的関連性を持ち、全体として一つの楽章としてまとまるように作られているからである。しかし、今回は時間の都合で第一楽章を割愛し、第2、第3楽章のみを続けて演奏することにする。

第2楽章(第2部)

自由なソナタ形式で書かれた第1部(第1楽章)で第二主題が再現し変ロ長調の属音に達すると、第2部：変ロ長調3/4のメヌエット風の楽想に入る。

ト短調の中間部が表れ、チェロのカデンツ風の分散和音音型が続いた後、再び変ロ長調の楽想に戻り、ゆったりした低音のチェロに導かれ、第3部に接続する。

第3楽章(第3部)

再び第1部の第1テーマの動機が現れ、それが、たたみかけられ中間転調を経てイ短調に導かれる。次は第1部の展開部に現れた動機を発展させたミラソと歌う美しい旋律が奏される。複付点をともなう節奏などを挟み、様々な音型を絡め音楽的頂点を築いて行くが、またミラソの旋律が奏でられ、やがて、最初の第1部第1テーマに回帰し、輝かしいコーダをもって全曲を閉じる。第3部についてはアーチ型の構造がうかがえる。

⑩ リスト：『ペトラルカのソネット』より “平和が見つからず”

ピアノ演奏における偉大なヴィルトゥオーソだったフランツ・リスト(1811-1886)は数多くのピアノ作品を残しており、また管弦楽においては交響詩の創始者としても知られているが、実はかなりの数の声楽作品を手がけている。その中でも「ペトラルカの3つのソネット」はかなりよく知られ、またピアノ版もある。そして3曲のうち、最も演奏される機会が多いのが第1番のこの“平和が見つからず”であり、ソプラノ、テノール歌手のレパートリーとなる機会が多い。

曲はあたかも苦悶するような半音階的な和音進行をともなうピアノの前奏ではじまり、一時的にヘ長調に半終止すると、「平和は見つからず」と歌い出す。転調を連ね、レントとなり、ヘ長調に落ち着き第二節に入る。三連音符の分散和音に乗って奏された美しいピアノの旋律を歌が模倣する。第三節の「目が見えないのに見ようし、口がないのに叫ぼうとする」からは、第二節で現れたモチーフが、調を変えながら連なって行き、内に秘めていた情熱がほとばしるかのようによぎって行く。第四節に入ると第一節の歌い出しの音型をピアノが思い出したように奏し、歌がそれを反復する、そして、最後は安らぐように弱奏で曲を閉じる。この作品は強い内面的な感情表現を必要としており、歌い手の表現力が試される作品である。平行和声に導かれた歌の旋律は悲しく感動的であり、最後は神に祈るように、長く伸ばされたA音で曲を閉じる。



Fresh Concert は今年で第 15 回目を迎えます。第 1 回～第 4 回までは座談会を開いて記事にしていきましたが、第 5 回目からは幾つかの質問項目を用意し、その回答を『音楽の世界』に掲載するようにしていきました。従ってこのアンケート方式の採用は今回で 11 回目となります。しかし、2015 年 4 月から『月刊：音楽の世界』が季刊に移行したため、前回からはコンサートのプログラムが掲載されているこの演奏会用パンフレッドに、出演者の略歴、楽曲解説と併せて掲載することにしております。

以下が、今年用意したアンケート項目です。

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。
2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？
3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。
4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありましたが、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？
5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？
6. 音楽以外の趣味について。
7. その他（書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです）

1.、～3 は昨年と同じです。**1.** はアンケートというより、このコンサートに寄せた各出演者のメッセージで、毎回掲載していますが、各自の演奏に対する意気込みが伝わる、力がこもった文が多かったようです。

2. では近未来に向けて挑戦したいテーマを語ってもらいました。**3.** は、若い音楽家にとって身に迫った切実な問題であります。まずは、ひたむきに音楽中心の生活を続けて行こうという意志が強く感じられましたが、やはりそれでも、芸術と生活の両立という困難な課題について、目をそらさず立ち向かおうという姿勢が感じられた回答もありました。**4.** は、昨年は「いじめ」について訊いてみましたが、今年は最近ニュースになっている、ストーカー被害に対する質問を浴びせてみました。特に、女性にとっては切実な問題で、絶対にそんなことをして欲しくないという気持ちが伝わるような回答がありましたが、SNSとの関連を語り、SNSなどで安易に個人情報を流さないようにと、自らを戒める回答もありました。

5. は、始めて政治に対する対応について質問してみましたが、やはり英国の国民投票や、アメリカの大統領選挙の結果が衝撃的だったせいか、予想以上に「我々若者も責任をもって政治と関わって行かなければならない」という趣旨の意見が多く、むしろ励まされました。

6. の音楽以外の趣味についての質問では、映画鑑賞、ショッピング、外食、スポーツ観戦というような回答が多かったのですが、中にはランニング好きで、ホノルルマラソンをめざす、というような回答もあり、驚きました。

全般に、自分の好きな音楽を大切にしながら、これからの人生に対して前向きに立ち向かって行こう

という熱意と意欲が伝わってくる回答が多く、頼もしく思いました。出演者には、このコンサートをスタート台にして、社会の荒波に漕ぎだして行く人もかなりいると思います。実際に社会に出れば、当初心に描いていたものとは違う世界が待ち受け、当てが外れることがあるかもしれません。たとえそのような状況に遭遇しても、若さの力と情熱、そして勇気と柔軟な精神をたずさえて、各々の道を切り開いて行って欲しいと願っています。それでは、出演者のみなさんの回答を、演奏順に紹介させていただきます。なお、出演者の写真につきましては略歴のページに掲載しておりますので、それをご覧ください。

① 守山 友季恵 (ソプラノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

今回このような機会を頂いたこと、とても嬉しく、また光栄に思っております。

みなさまに素敵な音楽をお届けできるよう、心を込めて演奏いたします。

今回演奏する曲の一曲目はオペラ「道化師」「カヴァレリア・ルスティカーナ」などで有名な P. マスカーニという作曲家による歌曲“*Ascoltiamo!*”「聴きましょう」というもので、「夢が現実になったような美しい旋律を聴きましょう」という詩から始まります。独特な和声から近代イタリアの風を感じていただけたらいいと思います。

二曲目に演奏するのは G. ドニゼッティ作曲のオペラ「アンナ・ボレーナ」より最終景の狂乱のアリア「わたしの生まれたあのお城」です。「狂乱のアリア」と呼ばれるものがオペラのアリアにはいくつかあり、狂乱の種類もまた様々です。このアリアは夫から不倫の濡れ衣を着せられ、自分だけでなくかつての恋人、さらには実の兄にも死罪が言い渡され、斬首刑の前に正気を失って歌うアリアです。このオペラのモデルになっているのはイングランド王国国王ヘンリー八世の二番目の妃、アン・ブーリンという実在した人物です。彼女は、長きにわたり英国を治めた女王エリザベス一世の生みの親でもあります。この最終景は正気と狂気が入り混じり、とてもドラマティックに展開されていきます。錯乱状態の中でかつての幸せな日々を思い出して歌われる極めて美しい旋律をお聞きください。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

学部時代は自分の声より軽い人が多く、オペラをやる時は自分の本来のレパートリーより若干重めの役柄をやってきましたが、まさに今回取り上げるドニゼッティやロッシーニ、ベッリーニなどのベルカント時代の作品をどんどん勉強して歌っていきたいと思っています。

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

やはり音楽一本でお金を稼ぐのはとても難しいと思います。クラシックが浸透しているとは正直言えないですし、劇場がそこら中にある毎日オペラやバレエを上演しているわけでもありません。ただ、「自分は必ず音楽で生き残ってやる」という気持ちを強く持って、勉強と努力をしていけば結果は自ずとついてくると思っています。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありましたが、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

なぜこのような悲しい事件が起きてしまうのかは分かりません。そして、いつ自分が被害者になるかも分かりません。イヤフォンをしながら帰らないとか、未然にできることをして防ぐのみです。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

これから生きていくのはわたしたちの世代です。政治に参加しないで、既に決まったことを嘆き悲しむより、きちんと政治に参加して自分たちの生きる世の中を作り上げていくべきだと思います。

6. 音楽以外の趣味について。

趣味は映画観賞です。とにかく洋画が好きで、ホラー以外ならなんでも観ます。好きな映画は「レオン」「グラン・ブルー」「シカゴ」です。食べることとお酒も大好きです。

② 菊池 柊慶(ヴァイオリン)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

今回演奏させて頂く『バガニーニアーナ』は、その名からもわかるように、超絶技巧で有名なニコロ・パガニーニへのオマージュとしてウクライナ出身の名ヴァイオリンニスト・ナタン・ミルスタインによって作曲された演奏会用作品です。その内容は、冒頭に登場する『24 のカプリース』より第 24 番の旋律をテーマとした変奏曲で、『魔女の踊り (Le streghe)』、『ヴァイオリン協奏曲 第 1 番』、『24 のカプリース』のメロディーが顔を覗かせています。様々なキャラクターが登場するに際し、楽劇のような移ろいを楽しんで頂ければ幸いです。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

元々、私は近現代の作品が好きなのですが、今年で成人したことからロマン派の作曲家の曲も弾きこなせるようになりたいです。

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

前提として、音楽大学ではなく、一般大学へ通っている私にできることは、芸術(クラシック音楽)を普及させるという草の根レベルでの活動だと考えています。私の周りにはクラシック音楽に親しみを持たない友人が数多くいますが、そのうちの多くはクラシック音楽に対して「難解」、「敷居が高い」というような印象を抱いているようです。元来、階級(身分制)社会において上位に占める人々の間で親しまれてきたクラシック音楽ですが、階級や身分が存在しなくなった以上、「敷居」が存在してはならないと思います。私は、草の根活動を通して、聴いてくださる方々が少しでも西洋音楽をはじめとした文化に興味を抱いてくれるように努めることが、ここでの問題に対する自分なりの答えです。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありました、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

小金井市におけるストーカー事件では、SNS でのストーカー行為が発端だったとされています。昨今の SNS の普及は、ストーカー事件の発生数に一定程度寄与しているのではないかと考えています。なぜ

なら、アカウントさえ知っていれば一方的にメッセージを送信できる SNS では、実際そうではないのにも関わらず、コミュニケーションがとれているような錯覚に陥ってしまう人もいます。再発防止のため、SNS を利用する際のモラルを教育の中で施していく必要があると考えます。悲惨な事件が繰り返されないことを願うばかりです。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

はじめに、米国の大統領選挙結果と、若者の政治参加という両者の間には、負の相関のようなものが存在すると考えられます。年齢層別投票結果でみると、若年齢層はヒラリー・クリントンを支持し、高齢になるほどドナルド・トランプを支持したという分析結果が出ているためです。したがって、トランプの当選の要因の一つは、相対的に高齢な有権者の支持があったためと言えるでしょう。

日本における若者の政治参加の問題は、裏を返せば高齢者の政治参加の問題でもあります。有権者の年齢によって、政府に求めるものが異なるというのは想像に難くなく、高齢者が多く、年少者が少ないという歪んだ人口構造を持つ日本では、特定の年齢層の利益が反映されないという問題が生じる可能性があるためです。この問題は、投票時の有権者による利己的な行動が社会悪へとつながりかねないことを示唆しており、若者の政治参加という次元だけではなく、若者を置き去りにしない政治のあり方を、国民全体で議論していくべきです。

6. 音楽以外の趣味について。

海外旅行、スポーツ観戦、音楽鑑賞

③ 遠藤 寛子（ソプラノ）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

今回は、Fresh Concert CMDJ2017 に出演させていただきまして大変嬉しく思っております。歌わせていただく曲目は、ドビュッシー作曲による3曲です。《2つのロマンス》より「1. ロマンス」では、過去のいとしいひとへの愛を語り、「2. 鐘」では教会の鐘が鳴り響き、いとしいひとへ思いを馳せています。また、老いた緑が鮮やかになるように幸せな過去を思い出し、想いがよみがえる様子が表現されています。《2つのロマンス》を通して、ドビュッシーの思い描くロマンスを表現出来ましたと思います。

「家のない子のクリスマス」は、戦争の悲しさや平和への祈りが、子どもたちの視点により書かれています。戦争の悲しみや祈りが少しでも表現出来ましたらと思っています。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

フォーレ作曲の連作歌曲「閉ざされた庭」、ドビュッシー作曲のフランス歌曲「森の眠り姫」です。日本歌曲は、湯山昭の作品です。

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

感動していただけるよう日々良い演奏を目指していきたいと思っております。音楽(芸術)を身近に、たくさんの方々に楽しんでもいただけるような演奏会にしていけたらと思っております。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありました、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

起きてはならないことだと思います。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

参加するために、日ごろから興味を持ち勉強していけたらと思っております。

6. 音楽以外の趣味について。

ショッピング、外に出かけること

④ 有岡 奈保／宮尾 夕華（ピアノ連弾）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

このような機会を頂き、大変嬉しく思っています。連弾でステージに上がったのは、去年のソロ・室内楽演奏会が初めてだったのですが、一台のピアノで、二人で音楽を作る楽しさを知ることができました。今回はラヴェルのオペラから抜粋して演奏します。ラヴェルの世界観と、様々な楽器の音を表現できたら、と思います。（有岡）

ラヴェルに取り組むのは個人的に初めてでしたのでとても勉強になりました。（宮尾）

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

室内楽や2台ピアノ(有岡)、シューベルトの三大歌曲集の水車小屋の娘、冬の旅、白鳥をやりたいです！！（伴奏です。）（宮尾）

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

ピアノを教えつつ、アンサンブルピアニスト、という形でいたいです。とりあえず、きたお仕事に真摯に向き合っていきたいです。（有岡）、音楽で生活していきたいですね…（宮尾）

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありました、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

様々な情報がSNS 上に出回っている昨今、自分の情報管理にまず危機感を持つべきだと思います。もちろんストーカーをする方が悪いのですが、日々気をつけるしかないと思います。（有岡）

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

私は選挙の度に投票に行ってますが、この1票が意味のあるものなのかとたまに思うことはあります。

でもそう思わずに、これからの世の中を担っていく若者のうちの1人なのだと責任感を持ち参加していきたいです。(宮尾)

6. 音楽以外の趣味について。

買い物、食事(有岡)、映画鑑賞と長距離走(宮尾)

⑤ 岡本 恵 (ソプラノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

この度は、このような素晴らしい演奏会に出演させて頂けること、心より感謝申し上げます。今回演奏させていただく「さくら横ちょう」は、作詞者本人の恋の追憶が描かれています。小学校の頃に好きだった美しい娘と、桜横町で二人きりになることができれば、どんなに幸せだろうかと空想していた…戦争の最中にふと桜横町を想い出し、作られたのがこの作品です。途中に出てくる半音は、悲しみの中、桜の花びらが落ちる様子を表しているのです、大切に歌いたいと思います。

2 曲目「ドン・パスクァーレ」のアリア「あの目に騎士は」は、私にとって挑戦の曲ですが、いつか歌いたいと思っていた、憧れの曲でもあります。ヒロインであるノリーナが恋愛小説を読み「私の頭は気まぐれ、いつも生き生きとしていて、人目に立つことは好きだし、ふざけることも大好き」と自分の恋愛観を語るシーンです。ノリーナは明るく活気があって、自分の意思をしっかりと持っているキャラクターなので、魅力的で輝きのある強い女性を演じたいと思います。

これまで培ってきた技術や表現法を生かし、聴いてくださるお客様の心に届くように、気持ちを込めて精一杯演奏させていただきたいと思います。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

山田耕筰や、中田喜直作曲の日本歌曲を中心に組みたいです。團伊玖磨作曲「夕鶴」、プッチーニのオペラにも興味があります。また、ドイツ語やフランス語の作品にも挑戦し、レパートリーを増やしたいです。

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

音楽家という自分の好きなことを一筋に取り組める生活ができるのは、幸せなことだと思います。音楽で沢山活躍できるようになることが理想ですが、生活と両立するためには、1日1日を大切に、計画を立てて、時間を有効に使うことが大切だと思います。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありましたが、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

SNS で自分の居場所を投稿することが原因で、ストーカー事件が起こることもあり得るので、むやみに個人情報を流さない方が良いと思います。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

米国大統領選挙において、若者の投票率が低かったということですが、その投票で国の将来が決まってしまうので、むしろ若者の方が積極的に政治に関心を持ち、投票することが必要だと考えます。

6. 音楽以外の趣味について。

映画鑑賞、カフェ巡り、ショッピングすること、食べることが好きです。

⑥ 〈サクソフォーン四重奏〉山本 真望子(Sop.Sax.)／山田 彩華(Alt.Sax) 中島 由加里(Ten.Sax.)／吉田 祐介 (Bar.Sax.)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

この度はこのような素敵なコンサートに出演させていただき大変嬉しく思います。今回演奏する曲は師匠の大切なレパートリーであるマスランカの作品です。現代の素晴らしい作曲家による新しいサクソフォーン四重奏のスタイルをお楽しみください。(山本)／今回演奏するマスランカの曲は、私の師事する先生が大切にしている曲でもあります。強い生命力を感じるエネルギッシュな曲をサクソフォーン四重奏の多彩な音色で表現して演奏したいと思います。(山田)／今回演奏する曲はとてもインパクトの大きい曲です。サクソフォーンカルテットこそその音色や神々しさ、そしてハーモニーの美しさを前面に出して演奏したいと思います。以前マスランカの曲に挑戦したことがあるのですが、それから2年たち再びマスランカの曲にチャレンジできることを嬉しく思います。(中島)／僕の師事している先生が所属しているサクソフォーンカルテットの演奏を聴き始めてこの曲を知りました。シンプルながらも胸に突き刺さるようなD. マスランカの良さを表現できるよう演奏したいです。(吉田)

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

バッハやモーツァルトなど音楽の基盤となる作品です。サクソフォーンにはオリジナル曲がないからこそ、一歩踏み込んで新たな発見をしたいです。(山本)

現代曲をやったことがないので今後取り組んでみたいです。(山田)

グラスノフの四重奏曲にもう一度挑戦し研究したいです。(中島)

オーボエ、フルートの曲などサクソ以外の曲を研究してみたいです。(吉田)

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか

今は、与えられたステージに向けて精一杯の努力と本番は思いを込めて演奏すること、また行く先々での出会いに感謝し大切にすることの積み重ねが、いつか未来を切り開く大きな鍵になると思います。(山本)／広い人脈と信頼を得る事が大切だと思います。(山田)／気合いと根性で頑張るしかないと思っています。(中島)／芸術を本気で頑張った人が初めて芸術と生活を両立できるようになると考えています。今は全力で音楽に向き合っていきたいです。(吉田)

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありましたが、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

自分の存在をアピールしながら働く職である以上、身の安全は人一倍気をつけ、ファンでい続けていただくためにも、お客様への感謝と距離を大切に、最善のコミュニケーションを心がけなければいけ

ないと思います。(山本)／最近では SNS 等をストーカーの手口として利用しているケースもあると聞きます。法律の改正により SNS も規制対象となりましたが、個人情報の管理には気をつけたいと思います。(山田)／自分の身は自分で守るという気持ちで十分用心し生活したいです。(中島)／本当に恐ろしい事件だったと思います。SNS など自分の知らないところからストーカーが始まる可能性があるので、気軽に自分の情報公開をしないことだと思います。(吉田)

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

世の中の不安や甘さが象徴されたニュースがとても多いです。そのような政治に若者が関心を示すとは言い難いです。今の政治の流れを変えることや、若者の関心を引く政策があってもいいのではと思います。(山本)／18 歳選挙権の実施等、若者が政治に参加できるよう様々な工夫がされてきていますが、若者の政治への関心は薄いと感じます。(山田)／政治だけでなく世の中の状況に敏感になり興味をもつ必要があると思っています。(中島)／若者が政治活動に参加するとしたらまず選挙が思い浮かびます。自分 1 人の票なんてと思わず社会の一員としてしっかり意見を持ち投票に行くべきだと思います。(吉田)

6. 音楽以外の趣味について。

書道、旅行、散歩、美味しいもの巡り、(山本)／読書、甘いものを食べる(山田)
散歩、お花を眺める(中島)／料理、漫画を読む(吉田)

⑦ 山上 由布子 (ピアノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

ハイドンは私の好きな作曲家の 1 人です。特にこの口短調は初めて聴いたときにすぐにお気に入りとなりました。その時ときめいた気持ちも一緒に織り交ぜて演奏させていただきます。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

ウェーバーについて、これから勉強していきます。

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

時間的、経済的に両立していくのはその人個人の問題です。誰のせいにも出来ません。生活において、何を 1 番大切にするのかを自分がしっかりと自覚していれば、やることはひとつです。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありましたが、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

「人にしてもらいたいと思うことは人にもしてあげる」という一節がありますが、逆もまた然りです。想像力や思いやりの心を持てる、豊かな心を育てる環境が全ての人の上に平等にあれば良いのに、と考えます。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどの

ように考えますか？

人は自分に直接的に関わりがないことに興味を持ちにくいと思いますが、この現代社会に生まれた瞬間に人間は嫌でも政治と関わらなくてはいけないと思います。まずは自分に1番身近なことから…

6. 音楽以外の趣味について。

今の1番はランニングです。ホノルルマラソン目指しています！

7. その他

この度はフレッシュコンサートに出演させていただき、大変嬉しく感じております。

今、私にできることをただひたすら詰め込んで演奏いたします。

今日この日までピアノを続けてこれたことに感謝して…。

⑧ 梅谷真理子(ソプラノ)

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

今回は後期ロマン派の作曲家であるH. ヴォルフによる歌曲集《メーリケの詩による歌曲集》から3曲演奏します。1曲目は「旅路にて」。題名の通り、一人の旅人が旅先で出会った美しい街とそこで耳にした音楽に感動し、気持ちを新たに次の旅先へと旅立つ、という内容です。ヨーロッパの美しい町並みが夕日に照らされる光景を思い浮かべながら聴いていただければと思います。2曲目は「水の精ビンゼフース」、真冬の夜の氷のはった湖に来た釣り人を、湖の守り主である水の精がやって来て脅かし怖がらせる、というちょっぴりホラーな内容です。しかし最後には朝が来たことを告げる鶏の鳴き声で水の精は去っていきます。3曲目は「春が来た」。4月の演奏会ですので、お客様と一緒に春の到来を感じられるよう、この曲を選びました。寒い冬から春になるときの空気や風の温かさや、微かに漂ってくる花の匂いなど、春の喜びを感じられる一曲です。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

今まで重点的にドイツ歌曲を勉強してきましたので、今後はオペラの勉強もしたいです。また、ドイツ歌曲の方もマーラーやリストなど触れたことのない作曲家の曲も勉強したいですし、他にもまだ勉強したことのない曲はたくさんあるので、こつこつレパートリーを増やしていけたらと思っています。

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

私自身この春大学院を卒業しましたので、これはここ最近自分にとって一番考える問題です。音楽を続けたいと思っている以上、相当裕福なお家の方でない限り金銭的な問題はつきものだと思います。しかし、音楽の勉強には人それぞれのペースがあるので焦りは禁物です。私は幸い実家暮らしなので、衣食住は困っていません。ただその他の生活費はもう学生ではないので、自分で働いて工面するつもりです。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありましたが、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

先日もアイドルの方がストーカーに刺され重体になる事件がありましたね。被害にあわれた方の気持ちと恐怖は他の人には計り知れないことだと思いますし、何よりもその後の人生ががらりと変わってしまうだろうと思うといたたまれない気持ちです。ストーカーにあっていても実際に事件が起こらないと警察が動いてくれない、というところが難しい問題だと思います。この間テレビでちらっと耳にしたのですが、警察が最初は請け合ってくれなくても諦めずに何度も被害を訴えることが大切だ、と言っていました。危ない目にあっている被害者の方を警察だけでなく、周りの人も気にかけて、少しでも被害が減ることを祈っています。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

若者と言っても、いずれは年を取りそれぞれの国を先導していく立場になると思うので、若いうちから自分たちが今どのような状況に置かれていて、それについてどう思うかを明確にしておくことはとても大切だと思います。アメリカも日本も一応民主主義ですので、政治に直接関わっていなくても国民が正義の声を上げていけば、少しは今後世の中が悪い方向に進まないようにできるのではないかと思います

6. 音楽以外の趣味について。

自分の愛犬（マルチーズ・メス）との散歩、料理です。後はよく人からは意外と言われるのですが、テレビでもスマホでもゲームをするのが好きです。

⑨落合 真悟（チェロ）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

毎年フレッシュコンサートで弾かせていただき、嬉しく思います。今回弾くサン＝サーンスのチェロ協奏曲は美しく、情感がある曲なので学んだことを形にして皆さんに伝えるように演奏したいです。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

ボッケリーニ チェロ協奏曲 ベートーヴェン チェロソナタ など

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

僕は音楽の勉強と同時に一般大学でも勉強をしているのですが、僕が通っている大学では学部で専門分野を学びながら仲間と会社を立ち上げたり、音楽や美術の専門学校に通ったりと様々な活動をしている人がいます。僕は音楽の勉強は一生懸命頑張っていきたいと思っていますが、せっかく一般大学にも通っているの、そこで学んでいることも音楽同様大事に考えたいと思っています。いくつかの専門を持つことがこれからの世の変化に求められることだと思います。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありました、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

このような悪質な事件はここ最近増えているように思います。今回の事件はストーカー行為を繰り返した男性に対しての警察の対応に非常に問題があると感じています。ミュージシャンの女子大生に男性

が執拗に接触を試みようとし、女子大生は命の危険を感じるほどの状態であったにも関わらず、ストーカー規制法の対象にはならない捜査は行わないといわんばかりの警察の対応は、無責任なものだと思います。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

トランプ大統領の就任は誰もが予想外だったと思いますが、トランプ大統領が当選した一つの理由として「アメリカを第一」に掲げていることが考えられます。特に世界で問題となっている移民、難民の受け入れについては失業のリスク、治安の悪化、財政の不安などの問題が積みまとうため、米国第1で移民を制限し、アメリカ国民の雇用を新たに創出するということを掲げたトランプ氏はアメリカ国民の心を掴み、支持者も増えていったと考えられるのは当然だと思います。これに対して、このような政策は周辺国との関係の悪化を招く危険性があることも事実です。また、トランプ氏の過激な発言や移民、難民を拒否することが人種差別だと捉えられてしまうこともあります。しかし、トランプ氏がこのような大胆で過激とも捉えられる政策を打ち出したことで若者の政治参加ということに関しては大きなプラスになったと感じます。今まで正面から向き合っていなかった問題もトランプ氏が打ち出したことでアメリカ国民に限らず日本国民も危機感を感じ、政治に関心を持つ大きなきっかけとなったのではないかと思います。

6. 音楽以外の趣味について。

野球が好きです。

⑩ 戸森 冴耶（ソプラノ）

1. 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する思いなどを込めたメッセージをお願いします。

この度はこのような機会を頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

今回取り上げた“ペトラルカのソネット”は、リストの巡礼の年第2年「イタリア」にある「ペトラルカのソネット第104番」に、フランチェスコ・ペトラルカが詩をつけた曲です。ペトラルカのラウラという女性へ捧げる深い愛とリストの官能的な旋律が美しく紡がれているこの曲を初めて聴いた時、私は感銘を受けました。今回は、三曲からなるソネットのうち、一曲目を演奏いたします。

「私を牢獄に入れ、開放しなければ閉じ込めもしない。目が無いのに見ようと、口が無いのに叫ぼうとする。死を望みながら命乞いをし、自分が嫌になりながら他人を愛している。苦しみを糧として、泣きながら笑う。死も生も同じ様に愛おしい。」報われない恋とわかっていながらも深い想いに溺れ、何度も何度も自問自答を繰り返し、葛藤が続くのです。この深い激情に寄り添って変化を遂げるリストの旋律。最後は彼が全てを受け入れ、安らぎを得たかのような美しい旋律に落ち着きます。これ程までに洗練された歌曲を歌えることの幸せを感じながら、愛を込めて精一杯歌いたいと思います。

2. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

今まではイタリア語のオペラや歌曲を中心に勉強してきましたが、今後はドイツ語のオペラ、リート等も勉強していきたいと考えています。

3. 若い音楽家にとって、芸術と生活の両立が難しい状況になって来ているようですが、あなたは、それをどのように克服して行こうと考えていますか。

常に「今」を生きることが大切だと感じています。

いかなる時も音楽に誠実に向き合い、どんな状況下でも歌い続け、努力を惜しまないことがいつか克服に繋がると信じています。

4. 小金井でミュージシャンの女子大生がストーカーに襲われ重体になるなどの事件がありました、頻発するストーカー事件について、あなたはどのように考えますか？

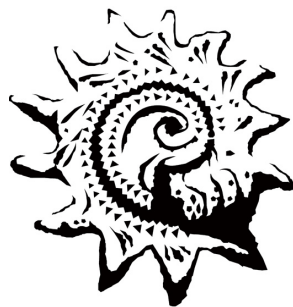
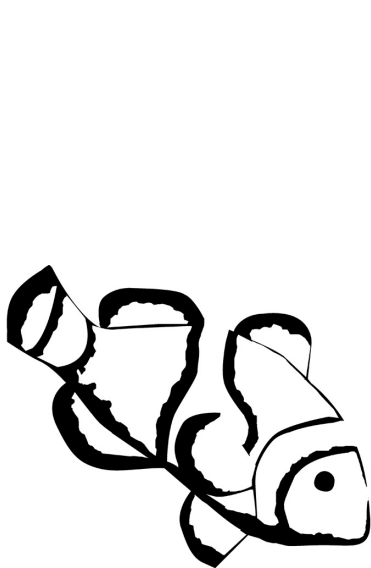
被害に合った女性は、一生この事がトラウマになり苦しむのです。自分勝手に卑劣な行為は本当に許せません。一刻も早くこのような問題が無くなることを望みます。

5. 米国の大統領選挙の結果は予想外だったと言われていますが、あなたは若者の政治参加についてどのように考えますか？

将来を担う若者達の政治参加はとても重要であるはずですが、一方で若者の選挙投票率が低いというのが現状なのでしょう。私自身も積極的に政治に目を向け、しっかりと現実を知った上で投票に参加し続けられるよう、今一度見直したいと考えます。

6. 音楽以外の趣味について。

映画鑑賞や、食べることが大好きです。



日本音楽舞踊会議 (The Conference of Music and Dance, Japan 〈CMDJ〉) からのお知らせ

◆会員へのお誘い

本会是一个の専門だけではなく、声乐、器乐、作曲、研究、评论、教育、轻音乐、舞蹈、などさまざまなジャンルの専門家で構成される団体です。機関誌として、この「音楽の世界」を発行し、演奏会、ゼミナール、研究会などを開催するほか、会報、メールマガジン、ホームページの発行や、会員同士の交流、情報交換などもあり、さまざまなジャンルの人との交流が出来るのはこの団体の特徴です。

正会員の会費は年額 22,000 円、**準会員**の会費は年額 15,000 円です。他に 30 歳未満の方を対象とした**青年会員**（年額 11,000 円）という特典制度があります。青年会員は役員の被選挙権を有さない以外は、正会員と同等の権利を有します。

◆賛助会員へのおさそい

本会の活動に協賛し、ご支援下さる方々を対象とした制度です。所定の年会費を納めて頂くほか、どのような資格制限も無く拘束もありません。どなたでもお申し込み頂けます。本誌「音楽の世界」を毎号お送りする他、本会が主催する演奏会などの事業に会員同様無料または会員割引料金で入場できます。

年会費は 1 口 10,000 円で、1 口以上からお申し込みになれます。

◆会友制度について

会友には研究員と維持会友があります。

- ・研究員は本会を足場に、研究、音楽活動をして行く方々のための制度で、本会において研究員としての活動を認められた方々は、会の主催行事（コンサート、研究会など）について、会員に準ずる条件で参加する権利を有します。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、本会機関誌「季刊；音楽の世界」を毎号お送り致します。

- ・維持会友は本誌や本会の活動に関心をお持ちの方は申し込みいただければ、どなたでも資格を得ることが出来ます。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、「季刊：音楽の世界」を毎号お送り致します。

★機関誌『季刊：音楽の世界』定期購読について

『季刊：音楽の世界』は、年 4 回発刊されておりますが、年間購読費 3,200 円で、定期購読が出来ます。定期購読者には毎号郵送で、『音楽の世界』をお送りします。

以上の記載事項について、詳しくは本会事務所（電話 03-3369-7496）へお問い合わせください。

日本音楽舞踊会議（TEL/Fax03-3369-7496・

e-mail: info@cmdj1962.com